



壱岐高便り

第205号

発行責任者
濱野 正義



携帯
サイトへ

長崎県立壱岐高等学校
[TEL] 0920-47-0081

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原88
[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「集団の力？個人の力？」

教頭 田中 清



11月2日県高総体駅伝競技が行われ、男子は10位、女子は6位入賞という見事な結果でした。その順位付近には口加高校や西海学園高校など強豪校が並びます。10日には筒城浜でマラソンと駅伝がありました。それぞれが、走る時も応援する時も、精一杯ベストを尽くしていました。陸上部長畑さんと瀬口さんに駅伝について聞きました。瀬口さんは「習慣は第2の天性なり」、長畑さんは「日々、練習を継続し積み重ね、長期間の成果につなげる。」を大事にしているそうです。「仲間がいるから頑張れるし、日々の努力があるから本番で緊張しすぎることもない。」とのこと。100年以上前に誕生し、沿道やテレビで数千万人もの観戦者を集める長距離リレー「駅伝競走」は、日本で最も名高いスポーツ大会の一つですが、世界ではあまり知られていません。なぜ、特に日本人に人気があるのか。各区間の距離も地形も様々な中で、各選手の特長や強みを生かし、全選手が共通の目的に向かって力を合わせ、チーム力を発揮し目標達成のために襷を繋ぐからでしょうか。

ところで、「舞い上がれ」というNHKの連続ドラマ小説が10月3日から日曜日を除き、毎日午前8時から放映されています。フィクションですが、大切なものが描かれています。「向かい風を受けてこそ飛行機は空高く飛べる。様々な困難に翻弄される今、空を見上げ飛ぶことをあきらめないヒロインの物語を通して明るい未来への希望を届ける。」がテーマ。ヒロイン、舞はものづくりの町・東大阪で町工場を営む父、母、兄と4人家族の大学生。小学生の頃、身体が弱かった舞は五島列島を訪れ、力強く舞い上がる「バラモン凧」に魅せられ、空に憧れます。壱岐には伝統工芸「鬼凧」がありますが、一説には、中国の風箏が伝わり、五島ではバラモン凧、壱岐では鬼凧になったそうです。

大学の航空工学科に入学し、有人飛行機作りに情熱を燃やすのですが、パイロットの先輩がテスト飛行で怪我をし、先輩たちの積み重ねを無駄にしないために舞がパイロットになります。舞は懸命なトレーニングと減量、先輩は徹夜で設計、製作、整備の毎日。舞は、幼い頃夢を抱き、受験勉強を乗り越え、今必死に身体を鍛えます。他のメンバーも各々の責務を果たすため必死です。

そこで考えたい。チーム力か、個人の力か。そもそも個人の力があるから、全体としてのチーム力があるわけです。ただ、チームがあるから個人としても頑張れる。駅伝でも人力飛行機でも同様。いわゆる相乗効果でしょう。チーム医療という言葉もあります。医師や看護師など様々な専門家が確かな知識技能を結集し、患者を治療していく。各々がスペシャリスト。あなたはどのようなスキルを身に付け、社会に役立ちますか。それには高校で学ぶ内容は高校生のうちに習得し、ある分野のスペシャリストになっていく必要があります。そのスキルは個人で積み重ねてこそ身につくものです。駅伝の選手も自分と向き合い黙々と走ることで実力がついていくのではないのでしょうか。そして、その先にそれぞれの目指す豊かな未来があると考えます。共通テストまであと44日(12月1日現在)。団体戦でもあり個人戦でもあります。後輩たちはその背中から多くを学び、日々成長していきましょう。

第 3 学 年 よ り

11月25日(金)で、共通テスト当日まであと50日です。3学年が通行する階段にカウントダウンカレンダーを貼付しておりますが、カレンダーの紙数が増えるのにつれて、残日数は減っていく、いよいよその時が来るのかと気が引き締まります。学年全体では、就職や公務員試験の採用結果が徐々に発表され、各校種の総合型選抜や学校推薦型選抜が実施され、結果が少しずつ出ている状況です。12月6日(火)には進路内定生徒保護者集会が開催されますが、生徒の皆さんから合格報告を受けるのは何度あっても嬉しいものです。

11月、何をしていたのか思い出せないほど、目まぐるしく時が過ぎました。いよいよ年の瀬が迫っています。これから受験する皆さんにとっては受験勉強も佳境です。気持ちが不安定になることも多々あるでしょうが、それは受験生誰もが経験する試練です。あと少しの間耐え忍び、満足する結果を求めて欲しいと思います。



第 2 学 年 よ り

11月は多くの学校行事がありました。亀岡高校交流会、校内マラソン・駅伝大会、海洋生物観察実習、修学旅行事前学習、総探発表会など。これらの行事を通して嬉しいことがありました。海洋生物観察実習や総探発表会でのパワーポイント、ポスター発表の作成技術が上がったように感じます。写真のレイアウトや文字の大きさなども工夫が見られました。外部講師の先生方からもお褒めの言葉をいただきました。また、交流会やマラソン・駅伝大会などの場での積極的な参加が素晴らしい。行事に一生懸命になれる人は学校生活を充実したものにすることができると思

います。自分から他者への関わりを持ち、自分にできる役割を果たそうとする姿勢をこれからも育みましょう。

さて、期末考査が終わると、修学旅行です。修学旅行実行委員会の生徒たちが準備を手伝ってくれています。みんなで協力して充実した研修にしましょう。



総探学年代代表発表会の様子

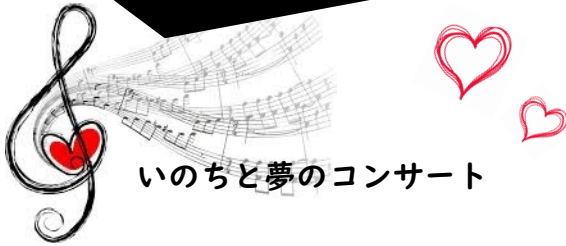
第 1 学 年 よ り

11月10日(木)にマラソン大会を実施し、駅伝では1年4組が優勝しました。11月とは思えない暑さの中ではありますが、懸命にゴールを目指した人、大会をサポートしてくれた人、精一杯応援してくれた人、みんなの頑張りのおかげで素晴らしい一日になりました。特に、順位やクラスに関係なく、頑張っている人に対して応援する姿には心打たれるものがありました。人には得意不得意がありますが、そうではなく、どう物事に取り組むかが大事なのだと教えられた気がします。2学期に入り、多くの行事を経験してきました。子どもたちはその度に大きく成長してくれています。

今年も残すところ1ヶ月となりました。期末考査の振り返りも含め、勉強にそして部活動にさらに精を出し、素晴らしい一年だったと思えるようにしてほしいと思います。保護者の皆様、12月21日(水)に修学旅行に関する学年PTAを実施します。年末のお忙しい中ではありますが、ご参加をお願いいたします。



彦岐高Topics!



いのちと夢のコンサート

今年度の「心に響く人生の達人セミナー」は、10月26日(水)、彦岐高同窓会からの支援をいただき、合唱作曲家・子どもミュージカル作家の弓削田健介さんをお招きして、「いのちと夢のコンサート」を開いていただきました。弓削田さんの優しい歌声、心に響く歌詞とメロディーに包まれて、気ぜわしい日常から立ち止まって、幸せについて考えることができました。



【生徒の感想より】

○弓削田さんの歌は、すごく心に響きました。特に心に残ったのは、「believe」と「しあわせになあれ」です。東日本大震災の映像を見た後に「believe」を聞くと、歌詞に込められた思いが伝わってきて涙が出ました。未来を信じるという歌詞が、未来に不安を感じている自分とも重なって、とても感動しました。

○自分の名前は、親が自分一人だけのために付けてくれた大切なものであるということに気づかされました。「名前の大実験」で自分の名前を心の中で呼びかけると、大切な友達の声が聞こえてきました。自分を大切に思ってくれている人たちの声が聞こえてきたので、とてもうれしい気持ちになりました。

12月行事予定

①1年 ②2年 ③3年
★ 学校開放

1	木		SC
2	金	7校時:安全衛生委員会	SSW
3	土	共通テストプレ(駿台)③	
4	日	共通テストプレ(駿台)③	
5	月	修学旅行結団式② 午後放課②	
6	火	修学旅行② 進路決定者集会③	
7	水	修学旅行②	
8	木	修学旅行②	SC
9	金	修学旅行②	SSW
10	土	★③,PM任意自学会③ 離島留学生三者面談(~11) GTEC①②(希望者)	★
11	日	コース発表会	
12	月	歳末助け合い運動(~16)	
13	火		
14	水		
15	木	三者面談③	SC
16	金	三者面談①②③ 5,6校時:進路ガイダンス①②	SSW
17	土	県下一斉テスト(3教科)①② 大学入学共通テストプレ(北予備)	
18	日	大学入学共通テストプレ(北予備)	
19	月	三者面談①②③	
20	火	三者面談①②③ 5校時:情報モラル教育	
21	水		
22	木		SC
23	金	大掃除 終業式 受納式 学年集会	
24	土	文化部合同発表会(PM)	
25	日	冬季補習①②③	★
26	月	冬季補習①②③	
27	火	冬季補習①②③	
28	水	冬季補習③	
29	木	年末休暇 任意自学会③	
30	金	年末休暇 任意自学会③	
31	土	年末休暇	

各分掌から

キャリア支援部より

11月16日(水)に長崎県高等学校総合文化祭(しおかぜ祭)【図書部門】令和4年度第19回ライブラリーフェスティバル県大会が行われました。本校からは2年1組の篠崎心美さんが出場し、ジェイン・オースティンの『高慢と偏見』という本で発表を行いました。篠崎さんは、聴衆を惹き込むにはどのような構成で文章を組み立てればよいのか、何を盛り込み、何を削るべきか、どのような話し方をすればよいのか、といった事柄を考えながら原稿を作り、発表の練習を繰り返しました。相手を意識したプレゼンテーションの仕方を習得することは、みなさんの総合的な探究の時間や、中国語や歴史学のスピーチや発表、面接試験などにおいても大切なことだと思います。また、現地である諫早市に赴き、他の優れた生徒たちの発表を見たことも大きな刺激になったようでした。

相手を意識した質の高いプレゼンテーションができるように試行錯誤すること、他者の優れた姿から多くを学ぶことは、みなさんの日頃の学習においても大切なことではないでしょうか。

生徒支援部より

最近、寒さが厳しくなってきました。特に受験を控える3年生については、しっかりと体調管理に努めてほしいものです。

さて、12月になると、クリスマスやお正月が近づき、少し気持ち的にも浮ついてしまう人がいるのではないのでしょうか。そのような浮ついた気持ちのときに、事故や事件は起こるものです。ハインリッヒの法則では、1件の重大事故のウラには、29件の軽微な事故、300件の事故寸前・無事故(ヒヤリハット)があるとされています。重大な事故を未然に防ぐためには、事前の対策と危険意識を深めること、予測することが重要です。もう一度、自分自身の生活を見直してみてください。スマートフォンはさまざまな点に配慮して使用していますか。自家用車の乗り降りは許可された区域で行っていますか。補導の対象になるような場所や時間に出歩いていませんか。いつも大丈夫だから今日も大丈夫とは限りません。自分の身は自分で守る。大切なことです。再度、保護者等の方とルール等の確認をして、よい形で新年を迎えるための準備をしましょう。

東アジア歴史・中国語 コース



◆秋季島外巡検

11月2日(水)、元寇船の木製いかりの引き揚げで注目されている鷹島を訪れました。海辺に打ち上げられた約740年前の陶器片やレンガ、大変貴重な「てつほう(鉄砲)」のかけらなどを採集することができ、大興奮しました。また、松浦市埋蔵文化センターでは、実物の木製いかりを見学し、全国的にも珍しい水中考古学や、最先端技術を用いた遺物調査・保護について、理解を深めました。



◆第16回全国高校生フォーラム 優秀賞受賞!!

第16回全国高校生歴史フォーラム(奈良大学・奈良県主催)に東アジア歴史・中国語コース歴史学専攻の2年生3名が論文を応募し、見事優秀賞を獲得しました。このフォーラムは地歴甲子園ともよばれ、全国から78編の応募があり5校が優秀賞に輝きました。論文は『「神宿る島」杵岐の信仰について～歴史の変遷と特異性～』という研究タイトルで、杵岐の神社仏閣の多さやその信仰の特異性について考察した内容です。11月12日(土)には奈良大学で研究発表会があり、堂々と発表することができました。

